

2025年度事業実施報告 ポイントサマリ資料

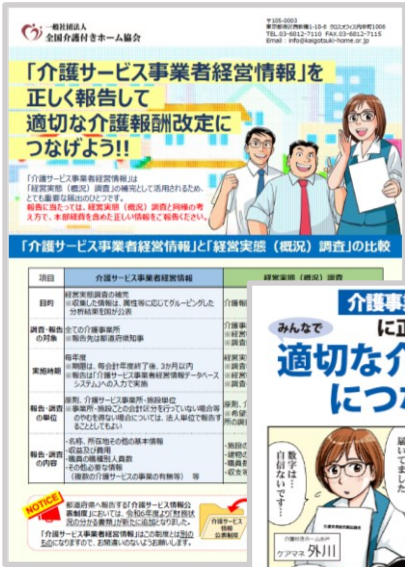
2025目標
経営概況調査・財務データ見える化における正確なデータ提出について、会員等への働きかけ推進
議員懇話会との連携強化



2025年度主な活動
・2025年度経営概況調査・財務データ見える化における会員への情宣 ※経営概況調査事前チェック実施とフィードバック
・議員懇話会を2回開催 (1) 深刻な介護人材不足への対応 (5月) (2) 基本報酬の向上と品質の伴った生産性向上 (12月)

経営概況調査・財務データ見える化対応

経営概況調査の概要	
目的	・介護報酬改定の基礎データの収集
対象	・通常型特定施設：5分の1（無作為抽出） ・地域密着型特定施設：全ての事業所
時期	2023年度及び2024年度の決算額を調査
単位	・介護サービス事業所・施設単位 （本部経費配賦額・法人税等も含む）
提出期限	・紙の調査票：2025年7月7日 ・電子調査票：2025年7月14日



財務見える化
チラシ

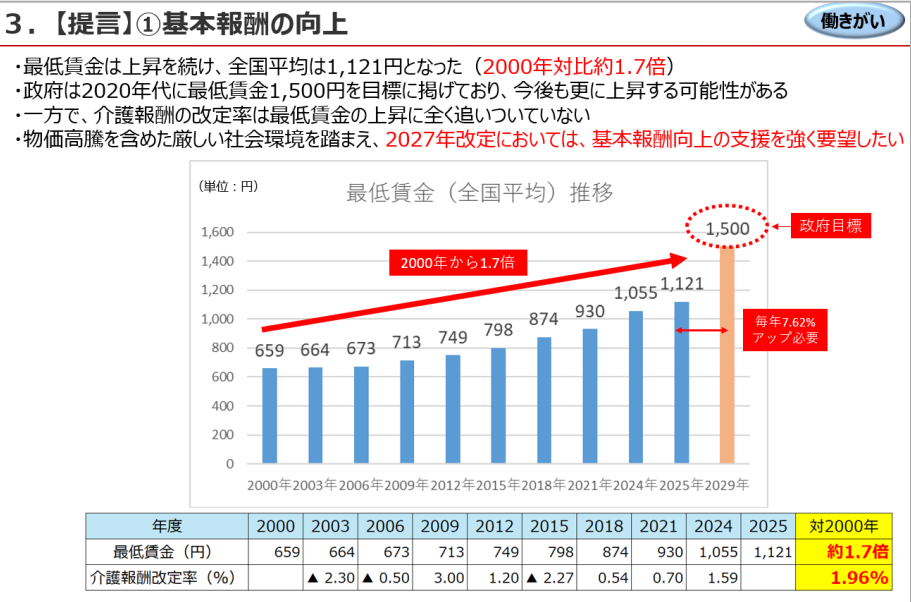


介木協 の対応	(1) 介木協より『注意喚起文書と事前チェック』の協力依頼を送付
	(2) 架電等による窓口担当者への正しい報告依頼 ➡会員法人（約900法人）
	(3) 外部業者様の架電等による窓口担当者への個別依頼 ➡非会員法人（約2,100法人）
	(4) 事前チェックと提出事業者へのフィードバック

正しい回答の情宣まんが

議員懇話会における要望

◎12月テーマ：基本報酬向上と品質の伴った生産性向上（規制改革）



2025目標

中央省庁との連携強化、厚労省事業への参画

2025年度主な活動

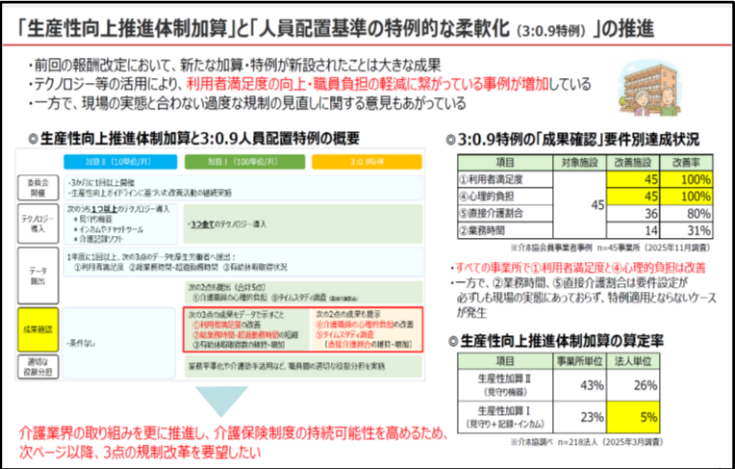
- ・2025年度厚生労働省老人保健健康増進等事業に15件参画
- ・内閣府規制改革推進会議において、品質の伴った生産性向上に資する規制改革提言（12月）

有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会【4月～】

検討事項	・有料老人ホームの運営及びサービス提供のあり方 ・有料老人ホームの指導監督のあり方 ・有料老人ホームにおけるいわゆる「囲い込み」対策のあり方 ・有料老人ホームにおける透明性・質の確保等に関する事項
開催	・4月～11月まで、全7回検討会開催



【12月】内閣府 規制改革推進会議



- ・「品質の伴った生産性向上に資する規制改革」についてのプレゼンを実施
- ・「人員配置基準の特例的な柔軟化」、「生産性向上推進体制加算」の要件見直し等

【3月】社会保障審議会委員への参画要望



【当協会が社保審に参画する意義】

1. 高齢者住まいに関する議論の発展
・高齢者住まい団体が不在
2. 品質の伴った生産性向上のノウハウ提供
・実証におけるエビデンス提供など
3. 社会課題解決に貢献する活動の推進
・未来社会への貢献活動を展開

厚生労働省老人保健健康増進等事業など（理事等による対応、主なものを記載）

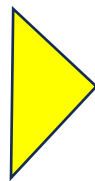
No	事業名称	委員
1	介護保険部会介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会 ●	鷺見代表理事
2	有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会 ●	植村副代表理事
3	高齢者向け住まいにおける運営形態の多様化に関する実態調査研究事業 ●	植村副代表理事
4	BPSDの予防・軽減を目的としたチームケア推進に関する調査研究事業 ●●●	老松副代表理事
5	高齢者施設等と医療機関の連携体制等にかかる調査研究事業 ●●●	秋山常任理事

No	事業名称	委員
6	高齢者住まい入居者紹介事業の適切な事業運営に関する調査研究事業 ●	秋山常任理事
7	介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究事業 ●	猪股理事
8	介護分野における特定技能協議会運営委員会 ●	葛城理事
9	技能五輪全国大会 介護職種の追加に向けた検討会 ●●●	安田理事
10	介護労働実態調査諮問委員会 ●	安藤監事

2025目標

中央省庁との連携強化、厚労省事業への参画

自治体・マスコミとの連携強化



2025年度主な活動

- ・技能五輪全国大会（介護職種）の委員会・エキシビジョンへの参加（10月）
- ・「かいごの魅力発信事業」に参画、埼玉県と愛知県の小学校で出張授業を実施（11月）
- ・横浜市と関係強化（8月、福祉避難所登録協定締結：3法人36施設）

【10月】厚労省技能五輪全国大会（介護職種）

【目的】

技能五輪全国大会は、原則23歳以下の青年技能者がその技能レベルの日本一を競うことで、若年層の技術の向上を図るとともに、広く国民にものづくり分野等の技術の重要性・必要性をアピールすることを目的に、昭和38年から毎年開催

【日程】2025年10月17日～20日

【競技会場】愛知県国際展示場



その方の気持ちに寄りそいながら介助を開始する選手(小川直明氏)

【11月】厚労省「介護の魅力発信等事業」【出張授業】

◎2025年度 厚労省事業受託会社（朝日新聞社）と連携

【出張授業の講師派遣】

- ・11/27 埼玉県さいたま市立大谷小学校
3年生 約180人
- ・11/28 愛知県安城市立安城中部小学校
4年生 約80人



介護のまんが



大谷小学校



安城中部小学校

【8月】横浜市と福祉避難所登録協定（36施設登録）

【協定概要】

災害時に福祉避難所として利用する必要がある際、横浜市が協定締結施設に協力要請できること等を定めたもの

【協定締結日】2025年8月1日

【福祉避難所登録】

自治体との連携強化に向けて、今後も継続的に福祉避難所の登録推進を実施する



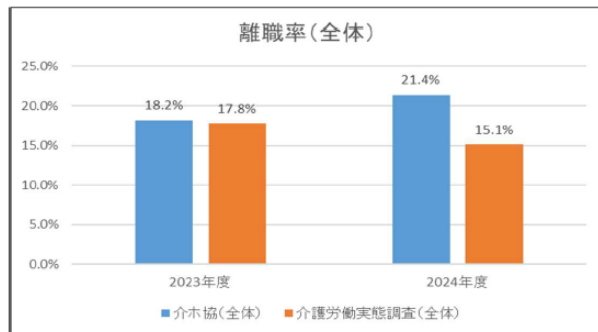
2025目標
離職率独自集計継続、人材確保に資する情報提供
厚労省施策への対応支援（セミナー・ツール提供） ＊運営基準・報酬 ＊BCP ＊LIFE ＊ICT ＊医介連携 ＊リスクマネジメント



2025年度主な活動
・2024年度離職率21.4%。会報誌で好事例を情報提供 ・経営者セミナー「介護付きホームの経営戦略を考える」を開催（1月）
・リスクマネジメント研修（基礎編・9月）、カスタマーハラスメント防止対策研修（基礎編・10月）、カスタマーハラスメント防止対策研修（ロールプレイ編・2月）を開催

離職率改善

離職率独自調査（8月～9月）



リスクマネジメント・ハラスメント研修

オンライン 介護付きホーム・カスタマーハラスメント防止対策研修（基礎編）

2025 10/17 全 14:00-17:00 入室開始13:45

近年、ご入居者もしくはご家族からのハラスメント、いわゆる「カスタマーハラスメント」の問題は深刻化しており、無視できない問題となっています。カスタマーハラスメントへの対応は、まずは職員1人1人が、カスタマーハラスメントに対する知識やその対応方法を身に付けていくことが肝要です。本研修では、入社歴が短い職員をはじめ全職員を対象に、カスタマーハラスメントとは何か、対応フロー、ストレス対処・セルフケア等の基礎知識を習得することを目的に実施します。

【当日プログラム】

<講義・演習（テーマや時間は一部変更になる場合がございます）>

1. 開会及び挨拶 14:00～14:05
2. カスタマーハラスメントの定義・背景・事例紹介 14:05～14:35
3. ハラスメントと正当な苦情の違い 14:35～15:00
4. カスタマーハラスメント対応フロー 15:00～16:35
5. ストレス対処・セルフケアについて 16:35～16:55
6. 事務連絡、各種ご案内 及び閉会 16:55～17:00

上海コンサルタンツ

【1月】経営者セミナー

◎1月テーマ：介護付きホームの経営戦略を考える

【介護付きホーム】経営者セミナー

日時：2026 1/26 15:00～19:30（受付14:30～）

プログラム

第1部 プレゼンパート 15:00～17:30
▶経済産業省による政策プレゼン
▶経営者による取組事例等プレゼン（3社）

第2部 懇親会パート 17:45～19:30

テーマ：「介護付きホームの経営戦略を考える」
経済産業省の政策及び経営者の熱い思い・取組事例等のご紹介をいただきます。一緒に未来の介護業界を考えませんか！

プレゼンパート登壇者 ※登壇者は変更になる場合がございます。

一般社団法人 ヘルスケア産業振興会 小野 聡志氏	株式会社ケアプラス 代表取締役社長 安田 雄太氏	株式会社ケアプラス 代表取締役社長 秋山 幸男氏	株式会社ケアプラス 代表取締役社長 山本 真博氏
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

主催	一般社団法人 全国介護付きホーム協会	会場	KICKSホテル東京 11F 東京都千代田区千代田4-1-1 東京駅（丸の内線）千代田駅（丸の内線）徒歩5分
セミナー参加費	正会員：無料 一般：今週に限り無料	懇親会参加費	正会員：一般 10,000円
定員	70名 ※定員超過の場合は500名まで	対象	介護付きホームを運営する介護事業者の社長や役員等経営者層の皆さま
申込締切	リアル参加 /2025年11月14日（金）17:00まで Youtube参加/2026年 1月19日（月）17:00まで		
申込方法	下記のお問い合わせ先へお申し込みください。お申し込みの際は「YoutTube視聴」の意向をお知らせください。 https://www.kalgotsuki-home.or.jp/schedule/2025/05/05 ※お申し込み後、「受付確認メール」の受信と確認が必要です。		

問合せ先：一般社団法人全国介護付きホーム協会
TEL：03-6812-7110 受付時間：平日 10:00～17:00
MAIL：shuichi.izu@kalgotsuki-home.or.jp（担当：伊豆）

経済産業省および会員3社の経営トップによるプレゼン、質疑応答



講師に聞く

松縄和彦氏 一般社団法人全国介護付きホーム協会 代表理事

問 職員のやる気を引き出す仕組について教えてください。

答 従来は賃金や待遇でモチベーションを高めようとしてきましたが、2023年度よりジョブ型評価制度へ移行しました。導入初期は離職率が一時上昇しましたが、丁寧な対話と改善を促した結果、現在は...

また、評価制度の導入には職員の意見を反映するため、全職員が参加型評価を実施し、職員のモチベーションを高めることに努めています。この取り組みは、2024年度に評価制度をさらに充実させる予定です。10月1日現在、評価制度の導入により、納税額が向上しました。

カスタマーハラスメント対応の全体像

まず利用者等の主張を尊重する姿勢を示し、真摯に対応することが重要

苦情対応

利用者等の不満を受け止め、状況の把握、改善策を検討・交渉

組織として「毅然とした対応」を決定

カスタマーハラスメント対応の実施

- 因果関係が不明、過大な要求、悪質な言動、不相当な行為
- 再三の注意等に関わらず上記の言動が継続、従業員の疲労や業務の停滞、関係機関との意見交換
- カスタマーハラスメントの認定、対応方針にもとづき対処
- 法的対応も視野に入れた交渉、契約解除等

←会報誌112号

↑カスハラ対策基礎研修

2025目標

研修テーマ拡充・内容充実化推進



2025年度主な活動

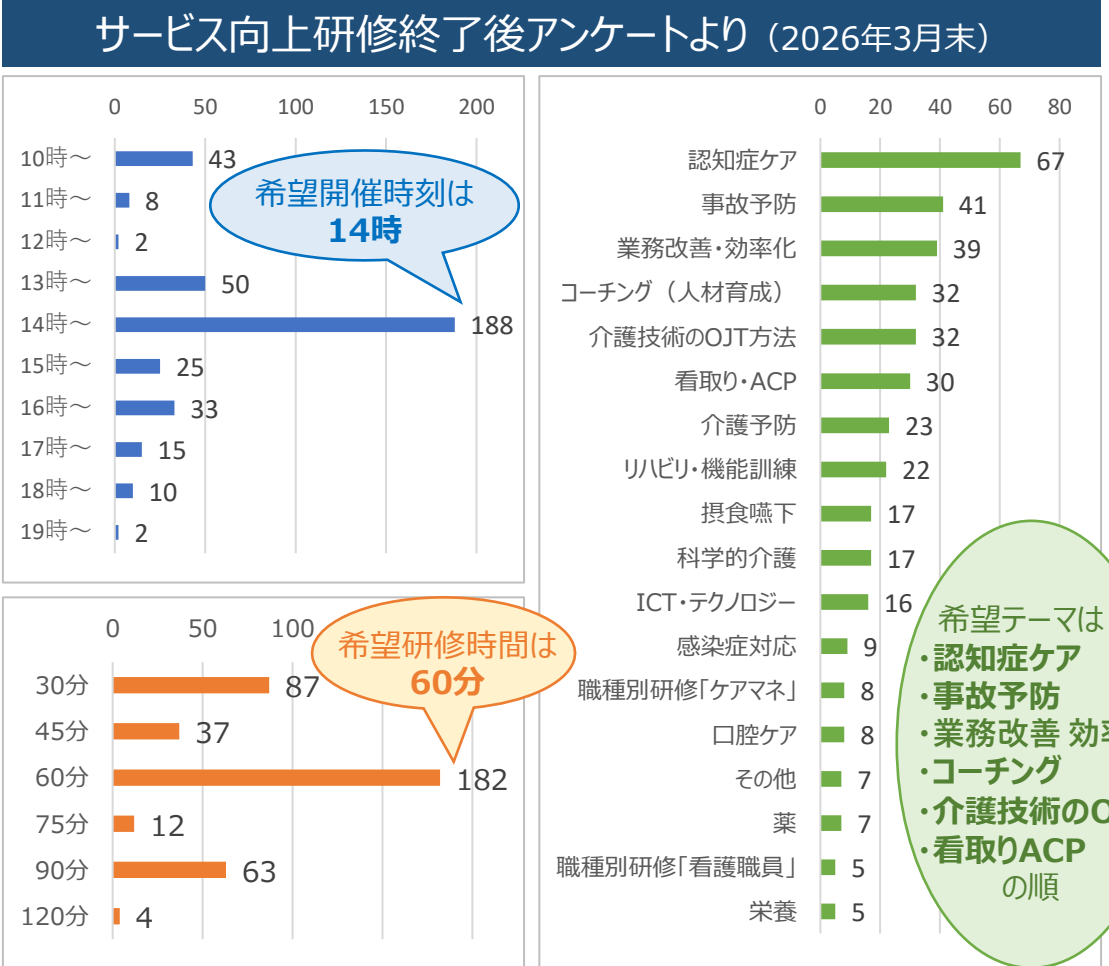
- ・新テーマ・講師によるオンライン研修の企画
 - ＊新テーマの研修を実施（栄養・離職防止・エンゼルケア・レクリエーション）
 - ＊新講師をお迎えしての研修を実施（虐待防止・マナー・認知症）
- ・会員ニーズ・評価の高い研修の継続開催（ユマニチュード・コーチング）
- ・研修時刻、研修時間、環境にバリエーションを持たせ各研修を実施

開催月	研修内容	講師	参加者数		
			法人数	ホーム数	人数
4/18 オンライン	栄養管理	ネスレ日本㈱ 橋本 涉知 氏 小島 由梨 氏	正会員 28 非会員 2 合計 30	ホーム数 37 2 合計 39	人数 67 3 70
5/28 SOMPO ケアユニバー シティ	介護技術	㈱プラスアール 理学療法士 村田 慎一郎 氏 ほか3名	正会員 6 非会員 0 合計 6	ホーム数 24 0 合計 24	人数 31 0 31
6/6 オンライン	虐待防止	認知症介護研究・ 研修仙台センター 吉川 悠貴 氏	正会員 60 非会員 2 合計 62	ホーム数 80 2 合計 82	人数 116 2 118
7/16 オンライン	おもてなし (接客)	㈱チャーム・ケア・コ ーポレーション 沼倉 貴由子 氏	正会員 32 非会員 1 合計 33	ホーム数 47 1 合計 48	人数 61 1 62
9/12 オンライン	離職防止 (新人職員の 定着)	ツクイスタッフ研修 サービス 福岡 潤一 氏	正会員 28 非会員 0 合計 28	ホーム数 38 0 合計 38	人数 52 0 52
11/28 オンライン	ユマニチュード®	ユマニチュード® 認定チーフインストラ クター 小百合 氏	正会員 27 非会員 3 合計 30	ホーム数 41 3 合計 44	人数 90 4 94
12/17 オンライン	エンゼルケア	㈱くらしの友 竹内 佑美香 氏	正会員 34 非会員 2 合計 36	ホーム数 63 2 合計 65	人数 109 6 115
1/16 オンライン	認知症医療	京都大学 医学研究 科 人間健康科学系 専攻 教授 木下 彩栄 氏	正会員 20 非会員 0 合計 22	ホーム数 33 0 合計 33	人数 43 0 43
2/13 オンライン	コーチング (実践編)	リエゾン地域福祉 研究所 代表 丸山 法子 氏	正会員 28 非会員 1 合計 29	ホーム数 41 1 合計 42	人数 48 1 49
3/18 オンライン	レクリエーション	㈱第一興商 島田 裕樹 氏	正会員 29 非会員 1 合計 30	ホーム数 34 1 合計 35	人数 51 1 52

【介護技術研修】

賛助会員 (株)プラスアール（理学療法士4名）を講師に迎え、8グループに分かれて実技研修を開催

↑5月開催「介護技術研修」
(会場：SOMPOケアユニバーシティ)



2025目標

選考プロセス、情宣活動の再検討



2025年度主な活動

- ・応募会社数向上のための仕組みづくりと働きかけを実践
 - * 2024年度【エントリー数：47件・法人数：12件】→2025年度【エントリー数：87件・法人数：31件】
 - * 他コンテストで入賞事例のあったホームなどに応募の声掛けを徹底
 - * 優秀賞枠を10組から15組に増加
- ・選考の公平性の向上推進
 - * 選考委員（役員）の交代制の導入
 - * 一次選考後、全役員による投票を実施し、優秀賞を決定

介護付きホーム
研究サミット2025
第13回事例研究発表全国大会

事例
大募集

応募締切
2025年
7/10

介護付きホーム
研究サミット2025
第13回事例研究発表全国大会
2025年10月27日
13:00-17:20
後援：厚生労働省

プログラム

会場
神田明神ホール2階

お申込方法

お申込受付中
10/21

↑演題募集チラシ

↑開催案内チラシ



↑表彰式



↑優秀賞15組による事例発表

グランプリ：株式会社サンライフ小野谷_サンライフ小野谷
準グランプリ：株式会社チャーム・ケア・コーポレーション_チャーム奈良公園
特別賞：SOMPOケア株式会社_西日本第一本部 中部第二事業部

第13回事例研究発表全国大会
介護付きホーム研究サミット2025
主催/一般社団法人全国介護付きホーム協会 後援/厚生労働省

No.	優秀賞受賞法人	No.	優秀賞受賞法人
1	社会福祉法人緑山会	8	株式会社ニチケアパレス
2	SOMPOケア株式会社	9	株式会社クラーチ
3	株式会社サンライフ小野谷	10	株式会社長谷工シニアウェルデザイン
4	株式会社ツクイ	11	株式会社東急イーライフデザイン
5	社会福祉法人敬友会	12	株式会社南日本ケアマネージメント
6	株式会社チャーム・ケア・コーポレーション	13	株式会社アライブメディケア
7	株式会社ベネッセスタイルケア		(応募・プレゼン順に記載)

2025目標
介護付きホームチラシ活用継続
会員、業界、一般向けの広報活動推進



2025年度主な活動
・「介護付きホーム」の使用促進を図り、介護業界内の地位向上を推進 * 「介護付きホームと表示しましょう」チラシをイベント時に会員へ配布 * 自治体発行の「ハートページ」に「介護付きホーム」の広告を掲載（一般・ケアマネ対象） ・会報・HP・メルマガ、それぞれの媒体特性を生かした記事内容の充実化 * 業界紙「高齢者住宅新聞」「シルバー新報」特大号に研修・イベント等を案内 * WEB媒体「介護ニュースJoint」に研究サミット・経営者セミナーイベント記事広告を掲載 * LINE公式アカウントを開設し、研修等で登録案内（友だち105名※3月末時点） ・広報活動を通して、介護のしごと魅力発信を推進 * 厚労省「介護の魅力発信事業」に参画し、介護のしごとを伝える出張授業に講師を派遣 ・厚労省や他団体との連携により、介護の魅力を社会へ発信 * 技能五輪全国大会（介護職種）に参画



↑「介護付きホームと表示しましょう」チラシ



↑「ハートページ」広告



↑会報「NEWS LETTER」109号～112号



↑「Joint介護」
（研究サミット掲載記事ページ）



↑「技能五輪全国大会」（10月）



↑埼玉県 小学校出張授業（11月）



↑介協
LINE公式
アカウント

2025目標

支部連絡会活性化、エリア拡大

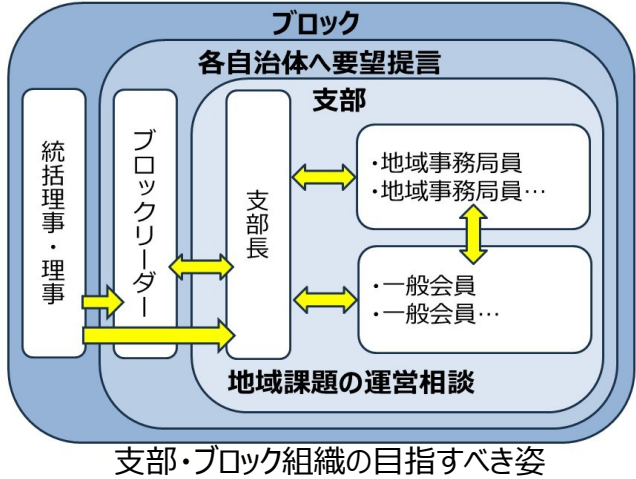
インターネット活用、ペーパーレス推進



2025年度主な活動

- ・全国で21回のブロック連絡会、支部連絡会を開催
- ・代表理事をはじめ、各地区の担当理事が支部連絡会に参加、次のユニークな好事例が出現
 - ＊行政も参加した意見交換会（8月、茨城県）
 - ＊バスツアー形式の1日セミナー（10月、福岡・佐賀・長崎連絡会）
 - ＊施設見学＆意見交換（9月、12月東京）
- ・香川支部と佐賀支部が創設

- ・FAXからSNS・メール等を活用した告知方法へ移行
- ・各種イベントにおける資料は事前にメール送付、アンケートはQRコードを読み取りGoogleフォームで回答



↑ Googleフォームアンケート

↑ LINE活用

支部連絡会のユニーク好事例

【8月】茨城県支部連絡会

【10月】福岡県・佐賀県・長崎県支部連絡会



意見代表理事による協会方針説明



行政関係者を交えたグループワーク



山本常任理事ご挨拶



九州工業大学井上教授によるAI活用セミナー（藤井監事参加）

◎ 役員が参加した地域連絡会

連絡会	参加役員	連絡会	参加役員
7/18 第1回広島県・山口県	浜崎理事、廣田理事	12/5 第2回広島県・山口県	廣田理事
9/24 香川県	廣田理事	2/20 東海・北陸ブロック	大島理事、葛城理事
10/28 愛媛県	廣田理事	3/ 6 関東甲信越ブロック	廣田理事
11/ 7 静岡県	大島理事、葛城理事	3/13 東京都	桐谷理事
11/14 岡山県	廣田理事		